

科目名 (英)	介護総合演習Ⅰ	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	
	(Nursing Care Integrated SeminarⅠ)	授業 形態	講義	総時間 (単位)	60	開講区分	後期
学科・コース	介護福祉士科					曜日・時限	木曜、1・2・3・4時限目

【授業の学習内容】

実習中の教育効果を上げるため、介護実習前の介護技術の確認や施設等のオリエンテーション、実習後の事例報告会または実習期間中に学生が養成施設等において学習する日を計画的に設けるなど、実習に必要な知識や技術、介護過程の展開の能力等について、個別の学習到達状況に応じた総合的な学習ができる。専門科目で得た基本的な知識・技術を統合し、実習を通して実践するための具体的な方法が理解できる。また様々な生活ニーズを持った利用者に対し、多様なサービス提供の場を実践できるように応用力を養うことができる。

【到達目標】

居宅・通所・入所等の介護施設の概要と利用者の生活像を整理・理解でき、介護福祉士としての役割を明確化できる。また他者理解に必要な基本的コミュニケーション方法やマナー等が習得できる。

授業計画・内容

1回目	「介護実習とは何か」…介護実習と授業の概要について理解ができる。
2回目	「介護実習の意義と目的」…介護実習が必要な理由とその目的について理解ができる。
3回目	「介護実習で学ぶこと」…介護実習で学ぶべきことについての理解ができる。
4回目	「介護実習の種類①」…実習Ⅰの目的と主な実習内容について理解ができる。
5回目	「介護実習の種類②」…実習Ⅱの目的と主な実習内容について理解ができる。
6回目	「介護実習と他の科目の関連①」…実習前までに学んだ内容(記録、反省会、質問法など)と実際の実習との関連について理解できる。
7回目	「介護実習と他の科目の関連②」…他科目で学んだ知識と実習との関連性について理解できる。
8回目	「実習先の概要①」…『訪問介護サービス』の概要と、期待される実習の学びについて理解できる。
9回目	「実習先の概要②」…『通所介護サービス』の概要と、期待される実習の学びについて理解できる。
10回目	「実習先の概要③」…『介護老人福祉施設』の概要と、期待される実習の学びについて理解できる。
11回目	「実習先の概要④」…『介護老人保健施設』の概要と、期待される実習の学びについて理解できる。
12回目	「実習先の概要⑤」…『認知症対応型共同生活介護(グループホーム)』の概要と、期待される実習の学びについて理解できる。
13回目	「実習先の概要⑥」…『小規模多機能型居宅介護施設』の概要と、期待される実習の学びについて理解できる。
14回目	「実習先の概要⑦」…『特定施設入居者生活介護(ケアハウス等)』の概要と、期待される実習の学びについて理解できる。
15回目	「実習先の概要⑧」…障害者総合支援法の『施設入所支援』に基づく身体障害者支援の概要と、期待される実習の学びについて理解できる。
16回目	「実習先の概要⑨」…障害者総合支援法の『施設入所支援』に基づく重症心身障害児・者支援の概要と、期待される実習の学びについて理解できる。
17回目	「実習先の概要⑩」…障害者総合支援法の『施設入所支援』に基づく知的障害児・者支援の概要と、期待される実習の学びについて理解できる。
18回目	「実習先の概要⑪」…最終実習(区分Ⅱ)で想定される『介護老人福祉施設』の実習のポイント等について理解できる。
19回目	「実習先の概要⑫」…最終実習(区分Ⅱ)で想定される『介護老人保健施設』の実習のポイント等について理解できる。
20回目	「実習先の概要⑬」…最終実習(区分Ⅱ)で想定される『訪問介護サービス』の実習のポイント等について理解できる。
21回目	「実習Ⅰについて①」…実習を始めるまでの手続き等について理解できる。
22回目	「実習Ⅰについて②」…実習を始めるにあたっての『実習生の心得』等について理解できる。
23回目	「実習Ⅰについて③」…実習計画と実習記録についての作成手順について理解できる。
24回目	「実習Ⅰについて④」…実習計画と実習記録についての作成手順について理解できる。
25回目	「実習Ⅰについて④」…実習中の日々の目標と、実習の展開方法について理解できる。
26回目	「実習Ⅰについて④」…実習終了後に行うべき記録等の手順について理解できる。

27回目	『実習の振り返り①』…実習の学びの経過報告と反省点について、理解できる。
28回目	『実習の振り返り②』…実習の学びの経過報告と反省点について、理解できる。
29回目	『実習の振り返り③』…実習の学びの経過報告と反省点について、理解できる。
30回目	『実習の振り返り④』…実習の学びの経過報告と反省点について、理解できる。
準備学習 時間外学習	準備学習…授業に臨むにあたって、教科書の内容を熟読しておく必要があります。 時間外学習(復習)…各単元の講義後に確認テストを実施します。講義の復習が必要です。
評価方法	成績の評価は、「試験」の点数で100点満点とする。「試験」には科目試験や中間試験、小テスト等の臨時試験の評価などが含まれる。
受講生への メッセージ	
【使用教科書・教材・参考書】	
教科書：新・介護福祉士養成講座⑩「介護総合演習・介護実習」（中央法規出版）	